

山間部におけるクマ出没への注意・警戒について

9月24日、午前8時45分頃、南砺市上平地内において、ブナオ峠から大門山に向かって登山中の男性1名（70代）がツキノワグマと遭遇し、負傷する被害が発生しました。

秋は、冬眠に向けてクマの活動が活発になる時期であり、今回の事例のようにクマの生息域で人身被害が発生するケースが見られます。特に、山林でのレジャーや登山、散策中には、不意の遭遇による被害が発生するおそれがあります。

県民の皆様には、人身被害の防止のため、特に下記の事項に十分な注意・警戒をお願いします。

記

1 クマの目撃や痕跡を発見した場合は、速やかに最寄りの市町村や警察署へお知らせください。

クマの足跡や爪痕、糞を発見した場合は、速やかに最寄りの市町村や警察署に連絡してください。出没情報の速やかな共有は、人身被害防止に極めて重要な対策となりますので、ご協力をお願いします。

2 クマの出没情報を確認し、出没が確認された場合は、できるだけ近づかないでください。

外出される場合は、県ホームページで公表している①クマ出没情報地図「クマつぶ」や、②県警察公式アプリ「とやまポリス」等を活用し、外出先のクマ出没状況を確認し、出没のある個所にはできるだけ近づかないでください。

①<https://www.pref.toyama.jp/1709/kurashi/kankyoushizen/shizen/yaseiseibutsu/kumap.html>

②<https://police.pref.toyama.jp/6100/toyamapolice/20250304.html>

3 登山や散策・山でのレジャーに出かける際には、以下の点に注意を払いましょう。

- ・鈴、笛、ラジオなど音が出るものを携帯し、クマに自分の存在を知らせましょう。
- ・食べ物の匂いがもれないよう密閉容器に保管したり、残飯やごみを放置しないようにしましょう。
- ・できるだけ単独での行動を避け、複数人で固まって行動しましょう。
- ・クマスプレーを携帯し、適切に使用できるよう事前に確認しておきましょう。

4 登山計画を家族や知人と共有しましょう。

クマの生息域である山林では、登山中にクマと遭遇し人身被害が発生することがあります。登山や散策の際は、入山前に行き先や予定ルート、帰宅予定時刻を家族や知人に伝えるなど、万が一の事故や負傷時に早期の救助活動につながるよう備えてください。

5 登山道を外れて行動しないようにしましょう。

クマは藪や沢沿いなど見通しの悪い場所を移動しています。登山道を外れると、不意にクマと遭遇する危険性が高まるため、できるだけ登山道や遊歩道から外れずに行動してください。